

科目名	人間関係（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 後期	単位数	1
担当教員	吉田 亜矢		
内容および計画	<p>乳幼児期の人間関係は、身近な養育者との関わりから始まり、地域社会の人々、同世代の子ども達との関わりへと広がっていく。幼稚園等の集団生活における人間関係の中で、自我が芽生え、自己主張をし、次第に他者の存在に気づき、社会性を身に付けていく。</p> <p>本科目は、ロールプレイおよび模擬保育を通して、多角的な視点を培い、領域「人間関係」における乳幼児の人との関わりへの育ち、それを支える保育者の支援のあり方について理解を深め、実践力を身に付ける。人間関係の発達を理解を深めるとともに、メンタライジングの観点から、ロールプレイを活用し、保育者の支援はもちろん、子ども、保護者の立場も体験することで多角的な視点を習得する。個人ワークでは、シナリオ作成を行い、前期の「幼児と人間関係」の内容および他の科目の学習内容を踏まえ、実際の保育場面で直面すると考えられる様々な発達のテーマに沿って、乳幼児期の人間関係の発達、子どもや保護者への具体的な支援を熟考する。グループワークでは、個人ワークを共有、ロールプレイでそれぞれの立場を演じたり、観察(他のグループのロールプレイ、撮影した自身のロールプレイの共有)したりすることで多角的な視点の習得し、振り返りを行い、検討する。</p> <p>模擬保育では、5歳児を対象としたICTおよび絵本等の教材選定、具体的な保育方法等の細案作成し、小学校教育との接続を意識した保育について検討する。</p>		
1	<p>領域「人間関係」における幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領教育の基本、ねらい、全体構造・領域「人間関係」と・各年齢における人間関係の発達と保育者のかかわり・学習の進め方(ロールプレイシナリオ、細案作成)</p> <p>到達目標：幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領教育の基本、ねらい、全体構造と領域「人間関係」・各年齢における人間関係の発達と保育者のかかわり、学習の進め方(ロールプレイシナリオ、細案作成)を理解する。</p>		
2	<p>分離不安-就園時の子どもや保護者を支援する-：保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオ作成と検討</p> <p>到達目標：テーマである分離不安を理解したうえで就園時の子どもや保護者の支援について熟慮し、保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオを作成できる。</p>		
3	<p>保育者と子ども・保護者との信頼関係：保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオ作成と検討</p> <p>到達目標：テーマである保育者による子どもや保護者との信頼関係形成の過程や支援について熟慮し、保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオを作成できる。</p>		
4	<p>分離不安-就園時の子どもや保護者を支援する-：模擬保育(ロールプレイ)、振り返り</p> <p>到達目標：分離不安を理解し、グループワークでシナリオを共有することで見解を広げる。ロールプレイでは、多角的な視点を培うとともに保育者の支援の重要性、多様な支援方法を理解する。</p>		
5	<p>保育者との信頼関係：模擬保育(ロールプレイ)、振り返り</p> <p>到達目標：グループワークでシナリオを共有することで見解を広げる。ロールプレイでは、多角的な視点を培うとともに保育者の支援の重要性、多様な支援方法を理解する。</p>		
6	<p>自我の芽生えと自己主張、自己中心性：保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオ作成と検討</p> <p>到達目標：テーマである自我の芽生えと自己主張、自己中心性を理解したうえで、保育者の支援方法、保護者への助言について熟慮し、保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオを作成する。</p>		
7	<p>集団生活と協調性：保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオ作成と検討</p> <p>到達目標：テーマである集団生活と協調性を育む保育者の支援について熟慮し、保育指導計画（ロールプレイ）のシナリオを作成できる。</p>		
8	<p>自我の芽生えと自己主張、自己中心性：模擬保育(ロールプレイ)、振り返り</p> <p>到達目標：テーマである自我の芽生えと自己主張、自己中心性を理解し、グループワークでシナリオを共有することで見解を広げる。ロールプレイでは、多角的な視点を培うとともに保育者の支援の重要性、多様な支援方法を理解する。</p>		
9	<p>集団生活と協調性：模擬保育(ロールプレイ)、振り返り</p> <p>到達目標：テーマである集団生活と協調性を理解したうえで、グループワークでシナリオを共有することで見解を広げる。ロールプレイでは、多角的な視点を培うとともに保育者の支援の重要性、多様な支援方法を理解する。</p>		
10	<p>自己統制と自律性：ICTを活用した保育指導計画(細案)の立案と検討(グループワーク)</p> <p>到達目標：テーマである自己統制と自律性について理解したうえで、自己統制と自律性を育む言葉掛けを中心とした保育指導計画（細案）を作成できる。</p>		

11	自己統制と自律性：ICT を活用した模擬保育(ロールプレイ)、振り返り 到達目標：グループワークで協議しながら細案を作成することで見解を広げる。自己統制および自律性を理解したうえで、それらを育む保育者の多様な支援方法を理解する。
12	道徳・規範意識の芽生え：絵本等の教材を用いた保育指導計画(細案)の立案と検討(グループワーク) 到達目標：テーマである道徳・規範意識の芽生えを理解したうえで、教材について熟慮し、保育指導計画(細案)を作成できる。
13	道徳・規範意識の芽生え：絵本等の教材を用いた模擬保育、振り返り 到達目標：絵本等の教材の選定とともに、道徳・規範意識の芽生えを育む保育者の多様な支援方法を理解する。
14	領域「人間関係」における小学校との接続-小学校道徳教育とのつながり- 到達目標：領域「人間関係」と小学校道徳教育との接続について理解する。
15	まとめ(グループディスカッション)：領域「人間関係」と保育者の支援・領域「人間関係」と幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿・領域「人間関係」における小学校との接続 到達目標：領域「人間関係」の視点から各種実習に向けて乳幼児における人間関係の発達の理解および保育実践の自己課題を明確にする。

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『幼稚園教育要領<平成29年告示>』	文部科学省			
『保育所保育指針<平成29年告示>』	厚生労働省			
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>』	内閣府、厚生労働省、文部科学省			
演習保育内容人間関係	田代和美・松村正幸	建帛社		

適宜資料を配布する。

Classroom を活用し、個々の対応を充実させます。ロールプレイの映像は Classroom に投稿します。また、ワークシートの提出後には受講者一人ひとりにコメントを投稿しますので確認してください。

参考書	田代和美・榎本眞実 (2019) 演習保育内容人間関係-基礎的事項の理解と指導法 建帛社
-----	--

成績評価

評価方法	割合(%)
ワークシート	60
レポート	40

学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 人間関係の発達の理解を深める。 保育者として多角的な視点を習得し、人間関係の側面から個々の乳幼児の課題や問題に気付くことができる。 保育者として乳幼児の課題や問題を配慮した人間関係の発達を育む支援について理解を深める。 グループワークを通して、保育者の役割、子どもや保護者に対する多様な支援方法、チーム保育を理解を深める。 発達、年齢に応じた教材(ITC、絵本)を検討し、人間関係の発達を育む保育に活用できる。 小学校教育との接続を意識した人間関係の発達を育む保育について検討できる。
先修条件	
実務経験	実務経験有：幼稚園教諭、保育士としての保育実務経験、幼稚園、小学校のスクールカウンセラーとして子どもや保護者を対象とした心理臨床経験を有している。現在福島県スクールカウンセラーとして小学校等で心理臨床を行っている。これらの経験をもとに、受講者の興味関心に沿って教授する。

